

施設名	観魚洞隧道(かんぎょどうずいどう)								
所在地	静岡県 熱海市錦ヶ浦								
管理者等	熱海市								
施設種類・分野	道路	隧道							
施設概要 (明治期との関連含む)	<p>明治時代、熱海から下田に向かう道は山間を通り険しく不便であった。このため明治42年、現在の国道135号の原形となる道路が熱海側から着工された。施工法は当時の隧道工事の技術である石積工法で人力による手掘りによって建設された。隧道の工法としては、覆工はもちろん石積であり、隧道全体の延長は113.0m、道路部全幅4.10m、車道部2.80m、歩道部0.80m、路肩幅0.50mである。有効高は3.8mであり、縦断勾配は1%、内部断面積は15.9m²となっている。</p>		文化庁HPより引用						
築造時期	明治後期	時期詳細	明治43年						
関連人物	—								
関連企業	—								
トピックス (特徴的エピソード)	—								
歴史的な遺産等の指定の有無等	○	選奨土木遺産(土木学会)	—	文化財(文化庁)	登録有形文化財(建造物)	近代化産業遺産(経産省)	—	世界遺産(ユネスコ)	—
その他 (関連資料、文献)	<p>静岡県の近代化遺産：静岡県近代化遺産(建造物等)総合調査報告書 あかりのたより46号 https://www.ieij.or.jp/IP/akarintayori/e004/index.htm</p>								
管理者等のHP (URL等)	<p>文化庁 https://kunishitei.bunka.go.jp/bsys/maindetails.asp</p>								